

(特非) 浅間・吾妻エコツーリズム協会 野反湖プロジェクト 水辺環境保全活動

イベントの延べ参加者数	58人 清掃活動5回
放置されたままの治山工事廃材の回収	47本
活動の全体目標に対する達成度	50%



第一回目 (6月30日) LOVE BLUE

◆成果と工夫したポイント

●成果

野反湖を周回して集めたゴミでマッピングすることができた。放置されていた治山工事廃材47本(およそ1トン)を回収できた。地元小学校で招聘した講師による出前授業「野反湖に棲むいきもの」を行えた。

●工夫

カヤックの使用で、重さ20kgを超える治山工事廃材を一気に大量に曳航できて、作業の効率化が図れた。

課題

野反湖の水辺には大小様々なゴミが見られることから、これらを回収し、野反湖全体のゴミの収集状況を視覚化することを今年度の課題にした。

目標

今年度は、ゴミ拾いを通して野反湖に関わる人たちとのネットワークを形成していったかった。次年度には、ビジターセンターを利用して、環境教育的な意味合いを込めたゴミ拾いを展開するつもりでいた。

活動内容

野反湖の許可権限者とカヤックを使用する展開で検討に入ったが、話が進展しないばかりか、協議会等とカヤック使用に関して折合いがつかず、結果としてカヤックを自粛せざるを得ない状況となり、8月以降は作業効率が大幅に低下した上に、ネットワーク形成はおろか疎外感まで抱くような状況になってしまった。



第三回目 (9月24日) のゴミの一部

達成できなかったこと

許可権限者との交渉ができず、地域内で協力が得られなくなった。地域性、排他性を考慮して行政に期待したが、そこが最大の問題であった。

今後の展望

3年計画で始めた初年度から、地元行政の協力が得られなくなったので、助成活動を終了する。